

第1回国際シンポジウム「海民・海域史からみた人類文化」
プログラム

第1日目 2010年3月27日(土)

10:00~10:30

開会挨拶
趣旨説明

中島 三千男
佐野 賢治

神奈川大学学長
神奈川大学日本常民文化研究所長

第I部 国際シンポジウム

漂うクジラー “ヒト”・“カミ”・“自然” 共生の試金石ー

10:30~12:00

基調講演

勇魚の人々

C.W.ニコル

作家・(財)C.W.ニコル・
アフアンの森財団

鯨墓と鯨供養を再考する

秋道 智彌

総合地球環境学研究所

13:00~16:30

パネリスト報告

コーディネーター 小松 正之

政策研究大学院大学

コーディネーター 安室 知

神奈川大学日本常民文化研究所

ノルウェー捕鯨の歴史と文化

Arne Bjørge

ノルウェー海洋研究所

インドネシア・ラマレラ村の捕鯨文化とその変化

江上 幹幸

沖縄国際大学

チリにおける捕鯨の歴史

Luis A. Pastene

(財)日本鯨類研究所

捕鯨と黒船

荒野 泰典

立教大学

ー人類史としての捕鯨史構築の試みー

ケンドールコレクション・ニューベッドフォード Stuart M. Frank*

ニューベッドフォード

捕鯨博物館所蔵資料より

捕鯨博物館

国際法からみた捕鯨問題

児矢野 マリ

北海道大学

16:30~17:30

総合討論

*Stuart M. Frank氏の講演は、氏の都合により中止となりました。

第1回国際シンポジウム「海民・海域史からみた人類文化」
プログラム

第2日目 2010年3月28日（日）

第Ⅱ部 個別報告

海民社会と漁業—東アジア世界から—

10:00~12:00

捕鯨と地域社会

	コーディネーター	小島 孝夫	成城大学
	コーディネーター	田島 佳也	神奈川大学日本常民文化研究所
アイヌの捕鯨文化		児島 恭子	早稲田大学
鯨絵巻からみる捕鯨法		中園 成生	平戸市生月町博物館・島の館
「鯨の町」と太地町立くじらの博物館の創設		櫻井 敬人	太地町立くじらの博物館
鯨の墓と鯨 ^{くじらりょうみん} 猟民		田上 繁	神奈川大学日本常民文化研究所

13:00~16:30

海民・海域史への展望

	コーディネーター	中野 泰	筑波大学
	コーディネーター	安室 知	神奈川大学日本常民文化研究所
明治前期の博覧会と水産図解		伊藤 康宏	島根大学
伝統漁法石干見の保存と利用		田和 正孝	関西学院大学
「海人・海民」論と造船について		後藤 明	南山大学
韓国明太漁業始末		李 根雨	釜慶大学校
大延坪島の定置網について		高 光敏	濟州大学校
漁業文化と観光漁業の関係		韓 興勇	上海海洋大学
- 中国舟山漁業文化の事例分析 -			

16:30~17:00

全体総括 田島 佳也 神奈川大学日本常民文化研究所

閉会挨拶 佐野 賢治 神奈川大学日本常民文化研究所